

佐藤訪米阻止闘争に起て！

13-17 ストライキを貫徹せよ！

全市大の先進的学友・院生・教職員のみなさん！

11・11の学長・協議会団交要求全学統一ストに続き、佐ト訪米阻止に向けて、強固な意志統一と大胆な行動提起を行なうため、早急にクラスゼミ討論を再開し、13-17のストライキを勝ちとれ！

《佐ト訪米阻止の意義は何な？》

戦後世界帝国主義体制の中で、ベトナム危機、ドル危機に領導された米帝の相対的地位の低下が進み、一方米帝との対立を激化させた北米の南下と、本帝との対立も激化している。日韓条約締結以後、本帝の海外侵略を押し進めてきた日本帝国主義者階級の明確なアジアの盟主を志向する日本帝国主義が明確な形態と内容をもって70年代に大躍進の野望をむつて登場せんとしている。

その野望を70年安保条約の改定強化、すなわち安保の核軍事同盟化と全アジア軍事同盟化によって計らんとし、17日からの佐ト訪米があり、佐ト・ニクソン会談→「日米共同声明」によりその策動を最終的に貫徹しようとしているのである。

具体的にはサンフランシスコ条約によって本土から離され米帝の

直接的＝政治的軍事的支配下にある太平洋のキーストーン＝沖縄の施政权返還（＝祖国復帰）による沖縄への安保条約適用を前提とし、オ五条の安衛防衛地域をアジア全域に拡大することと、オ六条「事前合議制」の實質的撤廃による日本の核武装下を野望し、本土のみ返還を言いつつも、実質上は沖縄の核基地付着自由使用返還をたくらんでいるのである。それ故、佐藤は訪米するのであり、この野望が70年以降の日本支配者階級にとって不可欠なものであり、沖縄の核つき自由使用返還によるアジア侵略の前進基地を確保することなのである。今政府支配者階級の国内における具体的な帝国主義的再編強化はアジア侵略（他国民抑圧と収奪）を貫徹するための国内整備なのである。我々はこの具体的な一つ一つの策動を粉碎すると共に、その中心環である佐藤訪米を阻止しなければならない。

佐藤帝国主義内閣打倒！ 70年アジア核安保粉碎！
沖縄闘争勝利！ 大衆の帝国主義的再編粉碎！

法 ストライキ実行委員会

12日 12:30 学内統一決起集会 6:00 扇町一中駅デモ (全大阪反戦隊)
13日 9:00-10:00 教職組人支援集会 3:00 学内集会 6:00 扇町一中デモ